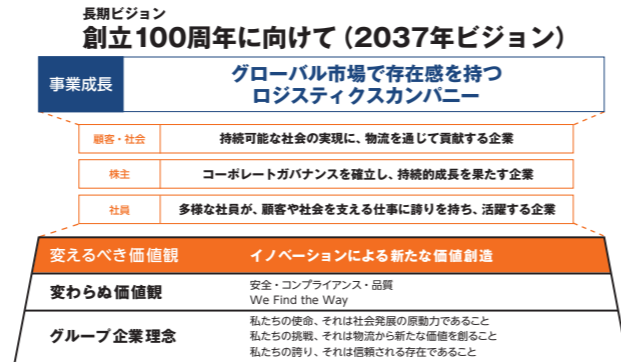


長期ビジョン 創立100周年に向けて(2037年ビジョン)

2019年4月からスタートした経営計画「日通グループ経営計画2023～非連続な成長“Dynamic Growth”～」において、創立100周年となる2037年に向けた長期ビジョン『グローバル市場で存在感を持つロジスティクスカンパニー』を目指し、これまでの延長線上の成長から格段に加速する成長の実現に取り組みます。

長期ビジョンは、「グループ企業理念」と「変わらぬ価値観」を土台に、「変えるべき価値観」としてイノベーションによる新たな価値創造を加え、事業成長を遂げていくことを目指します。事業を通じて社会課題の解決に取り組み、持続可能な社会に貢献することが日本通運グループの持続的成長と企業価値向上につながるものと捉え、ESG経営を実践していきます。



優先的に取り組むべき重要課題

ENVIRONMENT 地球環境への責任
 物流企業として、気候変動、資源循環、生物多様性への積極的な貢献
 具体的な課題
 ・気候変動対策の強化を通じたCO₂排出削減
 ・環境負荷の低い物流技術・サービスの提供
 ・気候変動への強靭性、適応能力の強化
 ・資源循環の推進
 ・陸域・海洋生態系の保全

SOCIAL 人権の尊重
 すべてのステークホルダーの人権を尊重した企業活動と笑顔あふれる職場の実現
 具体的な課題
 ・サプライチェーンにおける人権尊重の徹底
 ・労働衛生の確保

GOVERNANCE 良識ある企業行動
 持続的な企業価値向上を支える経営基盤の構築
 具体的な課題
 ・公正な事業慣行の推進
 ・腐敗防止の徹底
 ・労働安全・社会安全の徹底
 ・お客様や社会からの期待に応えるグローバル品質の推進

※本課題一覧は、当社グループとして事業およびCSRの観点から特に関連性が高いと思われる具体的な課題を記載したものであり、一覧に記載のない課題が重要でないことを意味するものではありません

長期ビジョン(2037年ビジョン) 実現に向けた取り組み

持続的成長を支える労働環境の実現
 多様な人材が活躍し、仕事に誇りを持ち幸せを感じる企業への変革
 具体的な課題
 ・働きがいある職場の実現
 ・グローバルで活躍できる人材の育成
 ・ダイバーシティ&インクルージョンの推進
 ・ワークスタイルイノベーションの推進

協働・共創によるイノベーションの実現
 イノベーションを通じたお客様や社会への価値創造
 具体的な課題
 ・グローバル・パートナーシップの強化
 ・持続可能で強靭なインフラ開発への貢献

重要課題特定・精査プロセス

- 2013** ISO26000などの国際的なガイドラインや社内外のステークホルダーの意見を踏まえ、グローバルに優先的に取り組むべきCSRの重要課題を検討。
- 2014** 経営会議において議論を行い、「地球環境への責任」「良識ある企業行動」「人権の尊重」の3つをグループ全体で取り組むCSR重要課題として選定。また、3つの重要課題の下、「自社が社会に与える影響」および「課題が自社に与える影響」の双方の観点から、「具体的な課題」の整理を実施。
- 2015** 有識者ダイアログにおいて「人権の尊重」に関する「具体的な課題」が整理されていないとの指摘を受け、記載の一部見直しを実施。
- 2016** 「具体的な課題」の一部文言について、分かりやすさを考慮し修正。
- 2017** 「地球環境への責任」について、「地球温暖化防止」「循環型社会の構築」に関する2030年度までの長期目標を策定し、取り組みを開始。
- 2018** パリ協定やSDGsの採択などの社会環境の変化を受け、3つの重要課題における「具体的な課題」について精査を実施。SDGsと事業・CSRの取り組みとの関連性の検証および社内外ステークホルダーへのアンケート、ヒアリングを経て、3つの重要課題におさまらないテーマも特定し、リスク中心の課題に機会の視点を追加。
- 2019** 重要課題とESGの関連性を精査し、「安全」はコンプライアンスの基盤であるとして、その位置づけを「人権の尊重」から「良識ある企業行動」に修正。

SDGs (持続可能な開発目標) への取り組み

現在、地球上では気候変動に起因するとされる異常気象やそれに伴う自然災害の頻発、自然破壊や人口増加による水資源や食料の不足、さらには経済・教育格差や貧困の拡大など、深刻な問題が顕在化しています。これら21世紀における世界共通の課題を解決するために、2015年の国連総会で「SDGs (持続可能な開発目標)」が採択され、国際社会共通の目標として、持続可能な開発に関する17の目標と169のターゲットが定められました。



当社グループは、中期経営計画の中で、ESGの3つのテーマについてSDGsとの関連づけを行い、3つの重要課題の「具体的な課題」を精査するに当たり、SDGsの169のターゲットについて重要度と事業との関連度を分析するとともに、バリューチェーンにおけるリスクと機会を整理しました。

事業を通じて持続可能な社会に貢献することが、当社グループの持続的成長と企業価値の向上を促し、SDGsの達成につながることを意識し、取り組みを推進します。

バリューチェーンにおけるリスクと機会

